

## ● 「札幌市民憲章制定 50 周年記念事業」の実施について

昭和 38 年に制定された札幌市民憲章が 11 月 3 日で 50 周年を迎えることから、「札幌市民憲章制定 50 周年記念事業」が実施されます。

これは、市民憲章の普及と実践を推進することを目的に、市民により昭和 39 年に設置された「札幌市民憲章推進会議（木原 直彦議長）」が主催するもので、記念式典やコンサートなどが開催されるほか、50 周年記念誌が発行されます。

市民憲章は、戦後の急速な人口増加や都市化に伴い、市民の連帯意識が希薄化する中、市民自らがその必要性を認識し、制定されたもので、まさに札幌の市民自治の原点と言えるものです。

市民一人一人がこの精神を胸に刻み実践することで、初めてその目的が達成されるものであることから、これを機会に市民憲章の意義にあらためて思いをはせてもらい、今後も多くの市民に積極的にまちづくり活動に参加してもらいたいと考えています。

### 1 市民憲章

前章 わたしたちは、時計台の鐘になる札幌の市民です。

(1 章) 元気ではたらき、豊かなまちにしましょう。

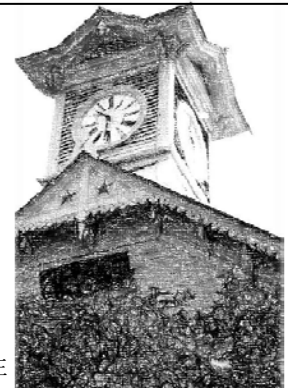
(2 章) 空も道路も草木も水も、きれいなまちにしましょう。

(3 章) きまりをよくまもり、住みよいまちにしましょう。

(4 章) 未来をつくる子どものしあわせなまちにしましょう。

(5 章) 世界とむすぶ高い文化のまちにしましょう。

札幌市民憲章 昭和 38 年 11 月 3 日制定 昭和 61 年 6 月 6 日一部改正



### 2 記念事業の概要

#### (1) 50 周年記念式典の開催

##### ① 日時

平成 25 年 11 月 3 日（日）18：30～

##### ② 会場

札幌市時計台 2 階「ホール」（中央区北 1 条西 2 丁目）

##### ③ 内容

札幌市民憲章推進会議 木原 直彦議長あいさつ

市民憲章実践優良者表彰

札幌文化団体協議会などによる記念ステージ

#### (2) 50 周年記念誌「道都札幌－輝き続けて」の発行

50 周年を機とした記念誌を発行し、連合町内会など、市民憲章の普及や実践活動に尽力してきた団体等を中心に 11 月ごろから一般配布。

#### (3) 50 周年記念特別コンサートの開催

札幌で最も歴史のある市民オーケストラである「札幌フィルハーモニー管弦楽団」とともに、札幌に関連した楽曲を交えた記念コンサートを開催。また、オープニングでは、市民憲章とともに歩んだ札幌の 50 年を振り返り、回想が深められる映像を放映。

- ① 日時  
10月19日（土）18：30～
- ② 会場  
札幌市民ホール（中央区北1条西1丁目）
- ③ 出演  
札幌フィルハーモニー管弦楽団  
中田 昌樹（指揮）  
杉木 峯夫、福田 善亮（トランペット）
- ④ 曲目  
祝典序曲（廣瀬量平）※札幌オリンピックのためにつくられた楽曲  
シベリウス交響曲第2番ニ長調 など全4曲
- ⑤ チケット販売  
ローソンチケット、市内プレイガイドにて販売中（当日・前売とも1,000円）

#### (4) 50周年記念展示会の開催

- ① 名称  
多彩な札幌のなつかし展（仮）
- ② 期間  
平成26年2月13日（木）～2月20日（木）
- ③ 会場  
チ・カ・ホ「北4条東広場」
- ④ 内容  
文化財のミニチュアや古写真、古地図などを展示し、札幌市の都市化の歴史を懐かしむ展示会。

#### (5) 子ども対象イベント「いま、子どもたちと考える未来」の開催

- ① 主旨  
小・中学生と高校生それぞれが未来の自分や夢について考えるきっかけを創出する各種イベントを実施。その中で、市民憲章を次世代に伝えていくために、市民憲章を知る機会を創出する。
- ② イベント内容  
ア 小・中学生対象「未来をつくる子どもたちへのメッセージ～プロで活躍する札幌の先輩たち～」  
エスプラダ北海道の監督の小野寺 隆彦氏と、プロ棋士でありながらサッカー漫画の監修にも携わる野月 浩貴氏の2人をゲストとしたトークイベント。札幌市出身の2人が夢をどのように実現したのかなどをテーマに語り、小・中学生が自分とゲストを重ね合わせ、将来を考える機会とするもの。  
(ア) 日時  
平成25年11月3日（日）10：30～  
(イ) 場所  
サッポロファクトリー1条館1階「ユビキタス協創広場 U-cala」  
（中央区北1条東4丁目）  
(ウ) 参加費等  
無料（先着100人、要事前申し込み）

(エ) 参加申し込み

- ・ 期限：10月18日（金）まで
- ・ 申し込み方法：  
札幌市のホームページ（<https://www.city.sapporo.jp/shimin/kensho/50th/kodomo/bosyu.html>）申し込みフォームから、または札幌市コールセンターに電話（222-4894）、ファクス（221-4894）、Eメール（info4894@city.sapporo.jp）で申し込み。

イ 中学・高校生対象「カタリ場」

中学生や高校生にとって、年齢では身近な先輩であるが、日ごろは話をする機会の少ない大学生と一緒に将来を語り合う「カタリ場」を実施。

「カタリ場」は教育プログラムとしても近年注目を集めているもので、中学生を対象としたカタリ場は道内初の試み。

(ア) 中学生の部

- ・ 開催日：平成26年1月22日（水）
- ・ 会場：青葉中学校（厚別区青葉町10丁目）
- ・ 参加者：市内の中学生 約60人

(イ) 高校生の部

- ・ 開催日：平成25年12月4日（水）
- ・ 会場：新川高校（北区新川5条14丁目）
- ・ 参加者：市内の高校生 約300人

ウ 小学生対象

プロスポーツの世界で活躍するゲストを招聘し、子どもたちに夢を持ち続けることの大切さなどを伝えるため、授業を模したトークイベントを開催。

※ 出演者および実施日等、詳細は調整中。

問い合わせ先

札幌市民憲章推進会議事務局

（市民まちづくり局市民自治推進室市民自治推進課内） 久道・小澤

電話：211-2253